

妙法華寺便り

令和5年12月号

◇ 行事報告 ◇

11月18日（土）摩利支天月例祭

摩利支天月例祭を執行させて頂きました。

少し早いですが、12月22日は冬至です。この冬至は陰の気が終わり、闇から明るい陽の季節への変化の転換の日です。

「正月は『妙』の一字の祭りなり」、と日蓮聖人は仰いました。（秋元殿御返事）

「妙の一字の祭り」とは、日蓮聖人の御遺文である「法華題目鈔」に「妙とは蘇生の義なり、蘇生と申すはよみがえる義なり」とあります。つまり正月とは蘇生の祭礼、すなわち生き返りなのです。年々に新たな生命が宿ると考えられ、生きながらの蘇りとなるのです。陰の気が終わる冬至で一旦、年の終わりを迎え、新たな始まりへのスタート地点が新年です。そして春を迎えます。まさに一年の生命が蘇るといえます。そのことを^{ことほぐ}寿ぐのが、正月（新春）です。

冬至から新年まで、心身共に新たな気持ちになれるよう、お題目をお唱え下さい。

11月18日（土）・19日（日）日蓮聖人御会式



日蓮聖人第742回の御会式を18日午後6時より速夜の式典、翌日は午前10時と午後2時過ぎより法要式を、檀信徒の方々と共に執り行いました。組寺からは、大坊・不変院様と正善院様にご参拝くださいました。

また、御志納のいただいた檀信徒の方には、今年も回向札を授与させて頂いております。御札には日蓮聖人の御遺文の一説を載せております。今年は「開目抄」の一文です。簡単に内容を申しますと、「法華経では、生きるもの全てが成仏できる道を示されている。そして、それは自分自身の悟りの教えであり、また親が亡くなった後でもなお、その親を助ける事ができる教えである。この教えを実践できる人こそ本当の聖人賢者である。」という事です。

父母の恩を偲びお題目をお唱え下さい。そして、あわせてこの回向札の言葉をお唱えいただき、ご先祖様、日蓮聖人そしてお釈迦様にお気持ちをお届けいただければ幸いです。また、二日間に渡る式典の準備、当日のご接待、片付けをして下さった皆様、ありがとうございました。

六地藏様

妙法華寺供養塔台地に六地藏をお祀りさせて頂き3年が過ぎました。今年も色あせた涎掛けを新調させて頂き、一読させて頂きました。



町内の地神様・日蓮供養塔の修善供養

妙法華寺の町内の皆様がお守りしておられる地神様の日蓮供養塔の修善供養をさせて頂きました。

お世話をして下さいる皆様、ありがとうございました。

◇ 行事案内 ◇

除夜の鐘

1月1日(月) 午前零時を合図に、お寺の鐘を108回撞きます。集合時間は、31日午後11時50分です。除夜の鐘について、清らかな気持ちで新年を迎えましょう。

摩利支天大祭・御札等の跋魂祭

新年1月18日(木) 午前10時より本堂にて跋魂祭を執行し、引き続き摩利支天月例祭を拜殿にて執り行います。古い御札や塔婆・予めお預かりした位牌などの魂を抜いて自然のものへと戻って頂く儀式です。当日御札などをお持ちになる方は、開始20分前には受付をお願いします。

また、今年1月に跋魂した御札等は、11月30日からの最上稲荷お火焚き祭期間中に最上稲荷の護摩壇にて住職がお焚きあげいたしました。

開運星祭(厄除け祈願)

2月4日(日) 午前10時より本堂にて執行いたします。

「大摩利支尊天」の御神力をいただき「年中安全」の御守護が受けられるように、厄除け諸難除けの特別祈禱を行いますので、是非、お申し込み、ご参加ください。なお、お申し込みをされて、当日ご参加出来ない方は、後日お札をお送りいたします。

文末になりましたが、今年は、春の組寺グランドゴルフ大会で団体Aチーム優勝、本堂にクーラー設置、また8月には雨の中、少年少女の集い開催とありましたが、概ね無事諸行事を修めさせて頂き、大過なく日々過ごさせて頂きました。これも諸天善神のご加護と檀信徒の皆様の護持・ご協力のおかげです。ありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

合 掌